

製品名: CD201 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08272**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	26kDa

抗原情報

遺伝子名	PROCR
別名	PROCR; EPCR; Endothelial protein C receptor; Activated protein C receptor; APC receptor; Endothelial cell protein C receptor; CD201
遺伝子 ID	10544.0
SwissProt ID	Q9UNN8
免疫原	内皮タンパク質 C 受容体由来の合成ペプチド (アミノ酸範囲: 141-190)

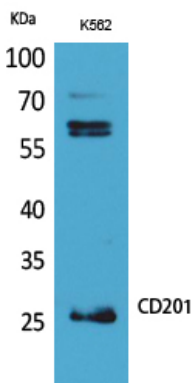
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、活性化プロテイン C (血液凝固経路によって活性化され、その経路に關与するセリン

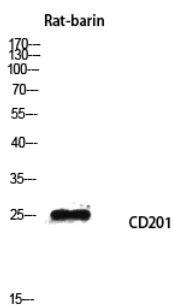
プロテアーゼ) の受容体である。コードされるタンパク質は、プロテイン C の活性化を促進する N-グリコシル化 I 型膜タンパク質である。この遺伝子の変異は、静脈血栓塞栓症、心筋梗塞、妊娠中の後期胎児喪失と関連している。コードされるタンパク質はマalaria 感染にも関与している可能性があり、癌との関連も報告されている。[RefSeq 提供、2013 年 7 月]、機能:活性化プロテイン C に結合します。トロンビン-トロンボモジュリン複合体によるプロテイン C の活性化を促進し、血液凝固を制御するプロテイン C 経路で役割を果たします。、PTM:可溶性形態が存在し、おそらくメタロプロテアーゼによって放出されます。膜結合型と同じ活性を持つと思われます。、PTM:N-グリコシル化されています。、組織特異性:心臓と肺の動脈と静脈の内皮細胞で強く発現し、肺と皮膚の毛細血管ではそれほど強く発現せず、肝臓と腎臓の小血管の内皮ではまったく発現しません。、

研究分野

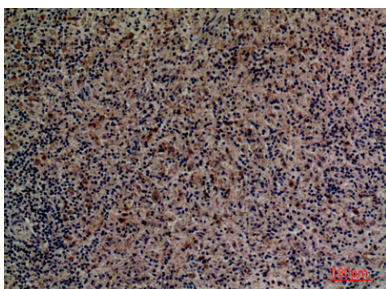
画像データ



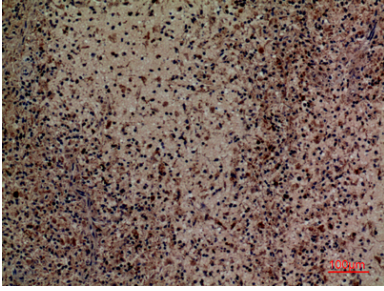
CD201 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析。抗体は 1:500 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



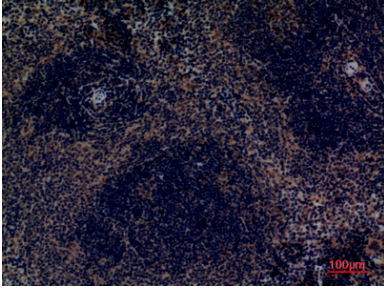
CD201 抗体を用いたラットバリン溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:500 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脾臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋マウス脾臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された